



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場会社名 株式会社ウォーターダイレクト 上場取引所 東
 コード番号 2588 URL http://www.waterdirect.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役執行役員社長 (氏名)伊久間 努
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理部長 (氏名)栗原 智晴 (TEL)03(5487)8101
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,215	—	△14	—	△33	—	△31	—
26年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △36百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△3.89	—
26年3月期第1四半期	—	—

(注) 平成27年3月期第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	6,664	2,229	32.0
26年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 2,132百万円 26年3月期 —百万円

(注) 平成27年3月期第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年3月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,650	—	130	—	100	—	30	—	3.70
通期	10,000	—	450	—	400	—	150	—	18.49

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期1Q	8,113,400株	26年3月期	8,113,400株
27年3月期1Q	159株	26年3月期	159株
27年3月期1Q	8,113,241株	26年3月期1Q	7,098,238株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用関連指標において改善が続くなど景気回復への期待感は変わらないものの、一部では消費税率引き上げによる影響が見られるなど、不透明な状況で推移しました。

ホーム・オフィス・デリバリー業界（宅配水製造・販売事業）においては、東日本大震災以降の飲料水に対する「安心」「安全」「安定供給」を求める意識の高まりを受け、宅配水の認知度は確実に向上し、顧客数も個人を中心に増加傾向にあります。それに伴い、新規参入企業も増加傾向にあり、本業界市場は更なる拡大が見込まれております。

このような状況の下、当社の製品であるナチュラルミネラルウォーター「CLYTIA25*」のより一層の認知度を高めるべく、百貨店・ショッピングセンター・家電量販店等の顧客接点を拡大し、デモンストレーション販売のさらなる強化のため、直販部門を分社化し、株式会社ディー・アクションを設立する等営業部門のさらなる強化を実施、また、近年、地球温暖化やヒートアイランド現象による平均気温の上昇や高齢者の増加に伴い、熱中症患者数が増加傾向にあることが報じられていることから、その対策として健康食品『クリティアプラス 経口補水液 パウダータイプ』を加え、水分だけではなくナトリウムも摂取することでカラダから失われがちな水分を補い、健やかな毎日の健康スタイルを提案するといった新たな取組みも開始しております。

その結果、売上高は2,215百万円となりました。収益面では、売上総利益におきましては1,717百万円となり、営業損失につきましては、営業活動強化による販売促進費の増加、原油価格高騰などによる物流費の増加等により14百万円となり、経常損失は33百万円、四半期純損失は31百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は6,664百万円となりました。

流動資産は3,587百万円となりました。主な内訳につきましては、現金及び預金が1,938百万円、売掛金が888百万円であります。

固定資産は3,077百万円となりました。主な内訳につきましては、建物が853百万円、賃貸用資産が2,865百万円、減価償却累計額が2,155百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は4,435百万円となりました。主な内訳につきましては、流動負債における1年内返済予定の長期借入金が981百万円、固定負債における長期借入金が1,289百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は2,229百万円となりました。主な内訳につきましては、資本金が1,204百万円、資本剰余金が413百万円、利益剰余金が514百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、緩やかな景気回復が続くことが期待されておりますが、消費税率引き上げ後の反動や資源価格等の上昇などによる経営環境への影響も危惧されております。

このような状況の下、当社は引き続きデモンストレーション販売の強化のほか、グループ会社を通じた法人顧客開拓やテレマーケティングによる顧客開拓、新水源の開発と新商品のラインナップ、物流コストの低減対策等に取り組んでまいります。

なお、平成26年5月9日に発表致しました通期業績予想からの変更はございません。

通期業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、重要な子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間において、株式会社ディー・アクションを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

また、当第1四半期連結会計期間より、重要性が増した富士ウォーター株式会社及び株式会社アイディール・ライブを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間
(平成26年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,938,593
売掛金	888,439
商品及び製品	347,906
原材料及び貯蔵品	104,664
その他	310,554
貸倒引当金	△2,753
流動資産合計	3,587,405
固定資産	
有形固定資産	
建物	853,809
貸貸用資産	2,865,091
その他	1,187,586
減価償却累計額	△2,155,101
有形固定資産合計	2,751,385
無形固定資産合計	184,951
投資その他の資産	
その他	153,098
貸倒引当金	△11,945
投資その他の資産合計	141,153
固定資産合計	3,077,490
資産合計	6,664,895
負債の部	
流動負債	
買掛金	119,556
短期借入金	100,000
1年内返済予定の長期借入金	981,299
1年内償還予定の社債	203,200
その他	970,760
流動負債合計	2,374,816
固定負債	
社債	52,000
長期借入金	1,289,538
資産除去債務	231,187
その他	487,843
固定負債合計	2,060,569
負債合計	4,435,385
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,204,480
資本剰余金	413,980
利益剰余金	514,238
自己株式	△109
株主資本合計	2,132,591
その他の包括利益累計額	
繰延ヘッジ損益	△583
その他の包括利益累計額合計	△583
新株予約権	31,532
少数株主持分	65,969
純資産合計	2,229,509
負債純資産合計	6,664,895

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,215,924
売上原価	498,300
売上総利益	1,717,623
販売費及び一般管理費	1,731,689
営業損失(△)	△14,065
営業外収益	
助成金収入	5,989
その他	5,016
営業外収益合計	11,005
営業外費用	
支払利息	11,692
上場関連費用	15,725
その他	2,536
営業外費用合計	29,954
経常損失(△)	△33,014
税金等調整前四半期純損失(△)	△33,014
法人税、住民税及び事業税	3,068
法人税等合計	3,068
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△36,083
少数株主損失(△)	△4,541
四半期純損失(△)	△31,541

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△36,083
その他の包括利益	
繰延ヘッジ損益	59
その他の包括利益合計	59
四半期包括利益	△36,024
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△31,483
少数株主に係る四半期包括利益	△4,541

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、ホーム・オフィス・デリバリー事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。